

2/12(金)～3/14(日)の行事

報道発表資料の配付日時 2月15日(月) 15時00分

発表項目 (行事名)	「ほっかいどう恐竜・化石カード」について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道では、本道で発掘・展示されている恐竜や古生物化石について多くの方々に興味・関心を持っていただけるよう、北海道博物館の特別企画展「北海道の恐竜」開催に合わせて、「ほっかいどう恐竜・化石カード」を次のとおり配布します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 配布カード 6種類(うちレアカード1種類)別紙参照 ※北海道大学小林快次教授監修</p> <p>2 配布施設等 (1) 北海道博物館 特別企画展「北海道の恐竜」開催期間中(開催期間:2/12～3/14)の土日祝日の来場者に対し、レアカードを除く5種類のカードのうち1人1枚を配布 ※新型コロナウイルスの感染防止対策として事前予約制を導入(詳細は北海道博物館HPをご覧ください。)</p> <p>(2) <del>5地域の博物館等</del> 〔二笠市立博物館、むかわ町穂別博物館、中川町エコミュージアムセンター、小平町文化交流センター、足寄動物化石博物館〕 →2/17～3/14の期間、上記の博物館等の来場者に対し、当該博物館等で展示されている恐竜や古生物化石のカードを1人1枚配布 →異なるカードを3枚集めた方には、5地域のいずれかの博物館等でレアカード1枚を配布(集めたカードの提示が必要です。)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><u>(変更後)延期(国内の緊急事態宣言解除後に改めてお知らせいたします。)</u></p> <p>※北海道博物館ではレアカードを配布しません。 ※配布する「ほっかいどう恐竜・化石カード」は、枚数に限りがありますので、なくなり次第終了となります。 ※道の新型コロナウイルスの感染症対策に伴う集中対策期間が延長された場合、5地域の博物館等での配布期間を集中対策期間終了後に変更します。 配布期間を変更する場合は、下記ウェブサイトで公表します。</p> <p>3 ほっかいどう恐竜・化石カード配布に関するウェブサイト <a href="http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/dinosaurcard.htm">http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/dinosaurcard.htm</a></p>		
報道(取材)に当たってのお願い	本道で発掘・展示されている恐竜や古生物化石を地域の資源として活用し、地域の活性化に結びつける取組ですので、積極的な報道をよろしくお願いいたします。		
他のクラブとの関係	同時配付(場所) 同時レク		
担当(連絡先)	総合政策部地域創生局地域政策課(担当:田村) TEL ダイヤルイン 011-206-6404 内線 23-457		

# ほっかいどう恐竜・化石カード

## 〈三笠市立博物館〉

**三笠市**



**エゾミカサリユウ**

有眼目モサウルス科  
約5メートル  
道庁管内産モサウルス科の一種。近隣産での発見例から推測すると、道庁管内に限り産出された可能性がある。

**エゾミカサリユウ**

白亜紀には、オオトカゲ類の中から、海の中で生活するようになった「モサウルス類」と呼ばれるグループが出現しました。エゾミカサリユウは、そのモサウルス類の一種です。

1976年に三笠市内から恐竜の化石が発見され、2007年には、それまで道庁とニュージャーランドで発見されていた種類と近縁であることがわかり、「エニファサウルス・ミカサエンス」という学名が命名されました。また、その頭骨は国の天然記念物に指定されており、日本の化石の中でも特に知名度の高い標本です。

【注目】  
持っているカードと見比べてください。同じように見えても、実は違う種類で、エゾミカサリユウは、こちらの方が大きいです。

## 〈むかわ町穂別博物館〉

**むかわ町**



**オベツアサリユウ**

種名目エラスモサウルス科(種名不明)  
約6メートル  
種名に長い首をもつエラスモサウルスの仲間。今、むかわ町のオベツアサリユウはエラスモサウルス類としては中くらいの大きさ。

**オベツアサリユウ**

オベツアサリユウは1975年に穂別町(現・むかわ町穂別)で発見されたエラスモサウルス科のクビナガリユウの化石です。この名前は発見者の故・道本新太郎さんの名前にちなんで付けられました。オベツアサリユウの化石で呼ばれています。

からだの大部分が採取されたことで、日本産のクビナガリユウ化石ではそれまでにはないほど詳しく研究されました。またこの化石は、むかわ町穂別の化石を主とする科学的調査が注目されるきっかけとなった重要な科学的化石であり、2017年には北海道天然記念物として登録されました。

【注目】  
持っているカードと見比べてください。同じように見えても、実は違う種類で、オベツアサリユウは、こちらの方が大きいです。

## 〈中川町エコミュージアムセンター〉

**中川町**



**テリオゾノサウルス類**

有眼目テリオゾノサウルス科(種名不明)  
約3-4メートル  
モソコウの化石で見られるテリオゾノサウルス科の一種。テリオゾノサウルスなどの肉食恐竜と同じく、種名が、産出地を動物科の種名を示している。

**テリオゾノサウルス類**

中川町産のテリオゾノサウルス類は、2000年に中川町内の化石愛好家によって、ノジュールに含まれた状態で発見されました。2003年に中川町エコミュージアムセンター特別展「南と北の白亜紀後編」の化石クイズコンテストの学生発表イベントによって、クイズコンテストが進められ、ベスト解答者2名と賞の賞1名などが抽出されました。

このうち1名は、先が欠けた状態のもの、ほぼ完全な形で保存されており、その長さは約14cmに達します。ゾムの特長からテリオゾノサウルス類を含むニトラトル科の恐竜のものであると考えられています。

【注目】  
持っているカードと見比べてください。同じように見えても、実は違う種類で、テリオゾノサウルス類は、こちらの方が大きいです。

## 〈小平町文化交流センター〉

**小平町**



**クビナガリユウ**

種名目エラスモサウルス科(種名不明)  
約6メートル(不明)  
非常に長い首と太い首になっている首足を持っていたクビナガリユウは恐竜ではないが、同じ時代の海で繁栄した大型爬虫類である。

**クビナガリユウ**

小平町産のクビナガリユウ(エラスモサウルス科の仲間)は、白亜紀後編の上層部層群と呼ばれる地層から、1987年に藤原幸夫氏によって発見。夏1988年に小平町によって発見されたもので、道庁管内むかわ町・本町産の穂別町(現・むかわ町穂別)に属して日本でも重要な産出地が知られたクビナガリユウです。

この化石は、特に頭骨が良好な状態で残されており、視骨・眉骨・股骨・四肢骨など合わせて380点に及ぶ部位(骨)の保存状態がよく、形態的特徴からエラスモサウルス科とされ、骨の排列から若い個体の化石であると考えられています。

【注目】  
持っているカードと見比べてください。同じように見えても、実は違う種類で、クビナガリユウは、こちらの方が大きいです。

## 〈足寄動物化石博物館〉

**足寄町**



**アショロア**

東柱目アショロア科  
約1メートル  
体形は東柱類だが、白歯はコブを並べたような独特な形。海中の姿は、丹山駐検理の大水槽にいるネッコウガのイメージ。

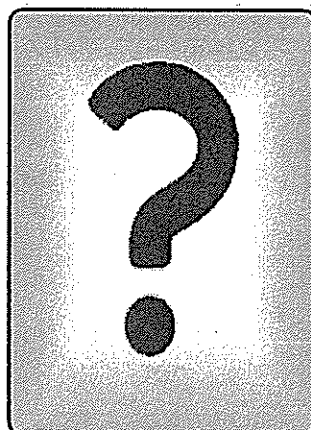
**アショロア**

アショロアは、北太平洋地域で化石がつかえるアショロア科(東柱類)の原始的な種で、1976年に十勝地方の足寄町で、2800万年程度の地層から発見されました。発見された化石から、厚に近い海に住み、大きな「手足」で魚、海草や海藻を食べていたと考えられています。

アショロアは、発見から100年くらいの間「水陸両生」と考えられてきましたが、研究の結果、水中で生活していた可能性が高いことが明らかになり、現在は、海で生活する姿で復元されるようになりました。

【注目】  
持っているカードと見比べてください。同じように見えても、実は違う種類で、アショロアは、こちらの方が大きいです。

## 〈レアカード〉



レアカードは、非公開とさせていただきます。

# ほっかいどう恐竜・化石カード 5か所の博物館などに行ってカードを集めよう!!



北海道の恐竜や古生物化石の  
カード全6種類  
カードを3枚集めて  
レアカードをゲット!!

## 延期

2021

~~2/17 (水)~~ ▶ ~~3/14 (日)~~

※各施設のカードがなくなったら終了します。

### ■カードの集め方

- 1 各施設の入館者のうち希望者に1人1枚お渡しします。
- 2 異なるカードを3枚集めて各施設の窓口で見せると  
レアカードがもらえるよ!!(カードがもらえるところは裏面を見てね)



各地を訪問する際は「新北海道スタイル」を契機に、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底にご協力ください。

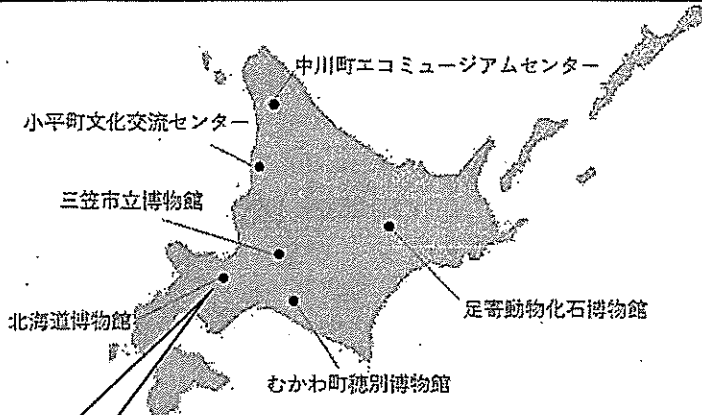
〈問い合わせ〉北海道総合政策部地域創生局地域政策課  
E-Mail : sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp  
TEL : 011-206-6404

次回のカード配布は、道ホームページで  
お知らせします。お楽しみに♪  
詳しくはこちら ⇒





# どこで恐竜・化石カードがもらえるの…??



■北海道博物館特別企画展「北海道の恐竜」開催期間中(2/12~3/14)の土日祝日の来場者に、1人1枚カードをお渡しします♪  
※北海道博物館では、レアカードをお渡ししていません。

北海道は、国内最大のハドロサウルス科の恐竜として、世界から注目を集めている「カムイサウルス」などの恐竜化石をはじめ、アンモナイト、ほ乳類、海棲爬虫類など、様々な古生物化石が発掘されている“恐竜・化石大陸”です!!

道内の恐竜や古生物化石に興味や関心を持っていただき、博物館などに行っていたくことを目的に恐竜・化石カードを作りました。

新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底して、5か所の博物館などでカードを集めてね!!

## 〈カードがもらえる博物館など〉

### 三笠市立博物館

三笠市立博物館の化石展示室には、直径約1.3mの日本最大級の巨大アンモナイト化石のほか、数多くのアンモナイトが一面に置かれています。また、国指定天然記念物エゾミカサリュウ化石も展示しています。



〈Tel. 01267-6-7545〉

写真提供：三笠市立博物館

### むかわ町穂別博物館

むかわ町穂別では、2013年に7,200万年前のハドロサウルス科の恐竜「むかわ竜」の全身骨格を発掘することに成功しました。研究を進めた結果、新属新種の恐竜であることが判明し、「カムイサウルス・ジャポニクス」と命名されました。

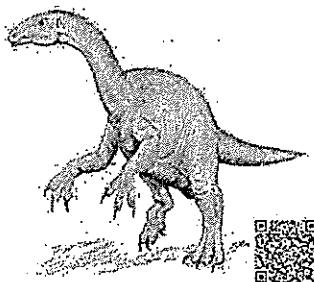


〈Tel. 0145-45-3141〉

写真提供：むかわ町穂別博物館

### 中川町エコミュージアムセンター

中川町に広く分布する層(蝦夷層群(えぞそうぐん))から、発見された道内3例目の恐竜「テリジノサウルス類」のツメ化石や、全長11mもある国内最大のクビナガリュウ、アンモナイトなど多くの化石が発見・展示されています。



〈Tel. 01656-8-5133〉

写真提供：中川町エコミュージアムセンター

### 小平町文化交流センター

小平町では、約8,500万年前の後期白亜紀の地層から、北海道で初めての発見となった恐竜化石「ハドロサウルス科」の骨盤と大腿骨が発見され、そのレプリカが小平町文化交流センターで展示されています。

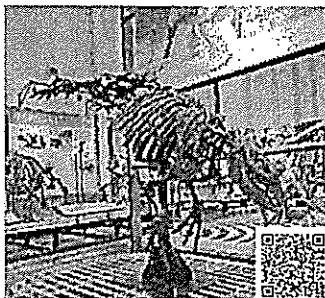


〈Tel. 0164-56-9500〉

写真提供：小平町文化交流センター

### 足寄動物化石博物館

足寄町では、絶滅した海棲ほ乳類(束柱類)のデスマスチルスの最も古いタイプである「アショロア」と「ベヘモトプス」の2体の化石が発見されており、それぞれ全身骨格が復元されています。



〈Tel. 0156-25-9100〉

写真提供：足寄動物化石博物館

### レアカードに「ダイナソー小林」のサインが…!?

異なるカードを3枚集めた方には、モンゴルのディノケイルスやカムイサウルス・ジャポニクス(むかわ竜)の発掘・研究などで活躍されている「北海道大学小林快次教授のサイン入りレアカード」を窓口でお渡しします!!



小林教授が恐竜や古生物化石を解説…?? 詳しくはこちら →

